

	<p>横浜市立大曾根小学校 学校だより</p> 	<p>令和4年4月7日 TEL 542-1785 FAX 541-0949</p>
---	--	---

新たな出会い 新年度のスタートです

校長 宮本 雅司

桜の花びらが舞い、チューリップの花が咲き、暖かな春を感じる季節となりました。お子様のご入学ご進級おめでとうございます。この度、前任の校長 丹波悟亮先生の後任として、4月1日付で大曾根小学校に着任しました宮本雅司と申します。教職員とともに力を合わせて、学校運営や教育活動に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

大曾根小学校は、新1年生と転入生を迎え、4月5日現在、全校児童 927 名の新年度の学校生活が始まりました。教職員も異動がありました。メンバーは替わっても、大曾根小学校が目指す教育目標の実現や子どもたちのよりよい成長のために努力していきたいと思っております。

学校は、子どもたちにとって、『実社会への準備段階』として大切な学びの場です。“準備段階”ですので、学校では、友だちや周囲の人たちと仲良く楽しく生活できることもあれば、時に、社会では望ましくない問題やトラブル等も生じます。家庭や地域の中でもあることでしょう。子どもたちが、実社会でよりよく生活するために必要な力を蓄えていくことができるように、保護者や地域の皆さんとともに協働して、教育活動や指導・支援に努めたいと思っています。

これからの教育は、子どもたちに、“生きて働く知識・技能の習得”“未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成”“学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力や人間性”等の資質や能力を育てていくことが求められています。一人一人よさや可能性をもっている今の大曾根小の子どもたちに、更にどのような力を身に付けていくことが肝要か、安全や人権にかかわることはきちんと指導するとともに、個々のよさを見い出し、できるだけ褒めて伸ばしていくことができたらと思っています。

そのために、家庭においても、地域においても、学校の中でも、『全てが学び』である子どもたちに、“減点”ではなく、一つ一つ“加点”するように、学んだことを積み重ねながら、よりよい成長や自己有用感の自覚につなげていきたいと考えています。赤ちゃんの頃、「初めて笑った」「初めて言葉を話した」「初めて歩いた」ことを褒めて喜んだように。

子どもたちの学びが充実するように、一人一人が気持ちよく居られる学校であり続けられるように、全教職員で努めて参ります。ご心配ご不安なこと等がありましたら、教職員に遠慮なくご相談ください。また、学校の教育活動へのご理解とご協力も何卒よろしくお願い申し上げます。